

●宮城県内美術教育関係者からの意見

1. 宮城県美術館・県民ギャラリーについて

宮城県美術館創設以来、本館や創作室は勿論のこと、特に県民ギャラリーにおきましては、公私共々大変お世話になっております。美術教育に携わる私達によって、宮城県内の幼・中・高・大の大切な教育活動に無くてはならない重要な施設となっており、全県の小・中学校の表行事である宮城県造形教育作品展や仙台市中学校美術部展・美術教員展は、毎年多くの来場者によって賑わい、豊かな情操教育活動を広める重要な役割をになっております。これからも宮城県の造形教育の普及のために、県民ギャラリーを活用させていただきたいと強く願っております。

県内公立中学校教諭

2. 宮城県高等学校美術展について

宮城県美術館 40 歳おめでとうございます。

特に、この宮城県民ギャラリーは 30 年以上「宮城県高等学校美術展」が開催されており、今では県下高校生の「美術の聖地」となっています。74 回展を迎えるこの美術展は、これまで多くの美術家を輩出してきました。美術を愛し、文化を大切にすることを育むこの場所の役割は、今も変わる事はありません。一高校教員として、県民ギャラリーが今後も県下高校生の「美術の聖地」としてあり続けて欲しいと強く願っています。

宮城県高等学校美育研究会 事務局長

3. 県民ギャラリー存続の意見について

宮城県美術館の改修工事に伴い、地下の県民ギャラリーは作品収蔵庫になると聞いた。我々高校教員が関わる宮城県高校美術展は「72 回」という歴史もあり、毎年県民ギャラリーにおいて開催してきた。毎年作品総数約 500 点を展示するが、この代わりとなる大きな壁・床面積を持つ施設は思い当たらない。

貴重な発表場所として、多くの美術愛好者や学校の児童生徒学生達に愛されてきたこの県民ギャラリーは、今後も県民が利用できるよう残していただきたいと思う。

高校美術教諭

4. 高校美術界の発祥の地 県民ギャラリー

500点近い高校生の作品が一堂に展示される宮城県高等学校美術展は県民ギャラリーで毎年実施され今年で74回展になります。私も今から23年前の高校時代に作品を展示させていただきました。これだけの作品を展示できるギャラリーは他になく宮城県美術館県民ギャラリーで美術を育んだといっても過言ではありません。これまでに多くの美術家やクリエイターが巣立ち沢山の県民の方々に作品をご覧頂いた事でしょう。2017年には全国高等学校総合文化祭美術・工芸展開催県とし47都道府県代表作品およそ500点を宮城県美術館にて展示させていただきました。私は研修のチーフとしてワークショップやギャラリートークを企画させていただきましたが、500名に上る全国の高校生と宮城県の研修係の高校生合わせて600名以上の高校生が作品について意見を交わし合い素晴らしい機会をこの場所で行われたのが記憶に新しいです。

私が勤める東北生活文化大学高等学校も美術・デザイン科卒業制作展を県民ギャラリーで開催しており、卒業生には東京藝術大学進学や中央展で活躍し画家になった者、デザイナー、美術教師、学芸員など様々な道へ巣立っております。

現在宮城県美術館は移転問題を乗り越え、美術館が存続される事はこの地で美術を育んだ多くの高校生において嬉しい限りだと思います。また、今後より良い施設へ向け改修が行われますが、これまで通り多くの作品が展示できる県民のギャラリーがリニューアルされることを楽しみにしております。

高等学校 美術・デザイン科教諭

●県民からの県民ギャラリー、リニューアルについての要望（抜粋）

（県民ギャラリーについて）

・県民展示ギャラリーはやはりこの大きさがいいと思います。収納庫の問題もありますが、慣れ親しんだ空間は、表現者にとって大事なものなのです。

・2011年よりギャラリーを使っています。これだけの規模のものは、東北にありません。ぜひ存続してほしいものです。

・ギャラリーの存在は必須！この規模で、駐車場も広く確保されている施設は仙台に他にないです。高美展や造形展のように遠くから多くの人が搬入・搬出・鑑賞に利用するのに重要ポイントなのです！ひとつ注文するとすれば…トイレの手洗いの水道何とかありませんか。ここがせまくて洗にくい(水道と壁の間が狭いことをさすイラスト)

・机・イス・展示台・アクリルケース etc…だれでも使いやすい設備を新調してほしいです。(古いので…)

・ギャラリーを気軽に利用出来たら良いのにと、前から思っています。カフェももっと軽いものがあればー。

・この空間を失うことはとても惜しいことと考えてなりません。存続を願うばかりです。

・収蔵庫増設のための県民ギャラリーの減床を防ぐ方策

・現 県民ギャラリー入口の空間を展示室に変える

・出入口をアリスの庭からにする。

・本館エントランスの地下に通じるエレベーター付近をうまく利用し、出入口とする

（リニューアル計画について）

・本館講堂部分を周りの廊下も含め一体化し展示も可能な多目的スペースとする

・県民ギャラリーの展示予備シリーズ

・ファミリー創作スペース

・飲食可能な自由スペース 等

・県民との一体化

・本館2階展示室で河北展等の県民ゆかりの展覧会を短期間で良いので開催する

・美術館主催で県展を開催する。

・創作室の継続と発展

・ボランティアの有識者によるワークショップの開催など